

学習発表会

～成果発表の場、成長の場として～

副校長 伊瀬知 大記

今年の冬は暖冬だと言われていますが、日によっては冷え込む日もあります。先週、冷え込みが厳しかった日のことです。中庭で1年生が霜柱を見つけて、大はしゃぎしていました。

「触ると冷たいよ。」

「細長い氷がたくさんついてるよ。」

「踏んだらシャキシャキしているよ。」



霜柱を見つけた子どもたち

霜柱を手にとって触ってみたり、形をよく観察してみたり、それぞれが思い思いに関わっていました。中には、地面を踏みしめて感触を味わっている子もいました。冬ならではの自然現象に触れ、楽しんでいる様子が見られました。

さて、2月は学習のまとめの時期に入ります。本校では、学習の成果を保護者の方に見ていただく機会として学習発表会を設けています。今年度は、全校一斉では無く、学年毎に日程を決めて行っています。学習の進捗や内容等によって、それぞれの学年が適切な時期を選んで実施しています。既に実施した学年もありますが、これから実施する予定の学年もあります。発表内容も、学年毎に異なります。生活科や総合的な学習の時間で学んだことや、各教科の学習を発展させたり横断的に学んだりしたこと等を発表します。発表方法も様々で、資料を掲示して説明する、スライドや動画等を見せる、作品や実物を紹介する、実際に体験する活動を取り入れる、朗読や歌・演奏で表現する等、伝えるために適した方法をそれぞれが選んでいます。

発表会が必ずしも学習のゴールであるとは限りません。途中経過を伝える場合もあれば、発表を通して次の段階に向かう場合もあります。ただ、学習の成果を誰かに伝える場面は大切です。目的や相手意識をもって、自分たちで選んだ方法で表現し、伝えることで、達成感や成就感を得られます。また、相手から意見や感想をもらうことで、新たな課題に気付いたり次への意欲をもったりできます。学習発表会が子どもたちの学習成果を伝える場となり、さらに成長の場となるよう、職員一同支援していきたいと思います。

この度、荏田小学校にふるさと納税でご寄付をいただきました。子どもたちの教育活動に関わるものを購入させていただきます。誠にありがとうございました。